

	<p>令和2年10月1日発行（第28号） 公益社団法人 会津若松市シルバー人材センター 事務局 編集 事務局 〒965-0807 会津若松市城東町8番28号 TEL 0242-26-1818 FAX26-1843 mail aizu@sjc.ne.jp URL</p>	<p>安全スローガン・安全はいつでもいつでも最優先</p> <p>渡部 哲郎 様</p>	<p>今年度は7月現在で事故件数は賠償事故2件で、会員の方の安全就業への意識の向上が感じられます。</p> <p>「人はこの世で共生し、生かされている」と言われています。会員は高齢になっても仕事ができることに感謝することが大事なことです。安全就業をすることにより、生きがいや仲間づくり、地域社会の活性化に貢献ができ、体を動かすことにより健康を維持増進し、健康寿命を延ばしていくことができます。</p> <p>また、シルバー人材センターの基本理念であります「自主・自立、共働・共助」の精神を認識することも安全就業を行う上で大切なことです。以上のことを踏まえて、みんなで安全就業に邁進していきましょう。</p> <p>『安全は 初心と基本に 忠実に』</p> <p>健康診断を受けましょう</p> <p>健康管理も安全の一つであり、会員の方には、ご自身の健康状態を把握していただくため、健康診断の受診をしていただきその複写を事務局に保管しておかなければなりません。</p> <p>ご自身の健康維持と安全に就業していただくため、毎年1回、健康診断の受診をお願いいたします。市で行っている集団検診でも結構です。健康診断を受診された方は、診断書を事務局までお持ちください。</p> <p>県連合会主催「安全大会」参加</p> <p>福島県シルバー人材センター連合会主催の「令和2年度安全・適正就業推進大会」が7月30日福島市の福島テルサで開催されました。当センターから4名が出席しました。県連合会安全・適正就業対策推進委員長である増井俊澄当センター理事長の開会のことばで始まり、「安全と適正就業の誓い」を参加者全員で唱和しました。安全・適性就業研修は「働く高齢者の特性と対応」と題して福島大学の五十嵐敦教授が講演しました。</p> <p>大会席上当センターが、安全就業実践センター努力賞として表彰されました。</p> <p>[婦人委員会]</p> <p>「断捨離セミナー」が開かれました</p> <p>9月3日、文化センターにおいて女性会員限定の「断捨離セミナー」が開催され、15名の女性会員の皆様にご参加いただきました。</p> <p>今回は10月16日に「アロマ講習」を予定しております。会員同士親睦を深めていただくことを目的としておりますので、大勢の女性会員の参加をお待ちしております。お気軽にご参加ください。</p> <p>[事務局からのお知らせ]</p> <p>第4次中期計画の策定について</p> <p>中期計画策定委員会において第4次中計画が策定されました。令和6年度まで5年間、社会経済状況等の変化に応じ、随時進捗状況を検証しながら、計画に基づいて事業の推進を図ります。</p>
<p>会員数487人（男性343人・女性144人）（7月現在）、契約高（7月末）受託71,083,580円、（昨年同月比10,339,015）派遣8,956,706円（昨年同月比△420,678）</p>	<p>[シルバー人材センター事業普及啓発促進月間] の活動</p> <p>毎年10月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」としてシルバー事業の社会的意義や活動内容等を広く市民に理解していただきました、センターへの加入を働きかけるために活動を展開していきます。「公益」という観点からも地域社会への奉仕貢献が大切な要素となりますのでご協力をお願いいたします。今年度はコロナ禍でいろいろ制約のある中での活動となります。</p> <p>○ 鶴ヶ城公園の清掃奉仕 日時 令和2年10月10日（土）午前7時から1時間程度</p> <p>○ 介護施設「美野里」周辺の清掃奉仕 日時 令和2年10月26日（月）午前8時45分集合</p> <p>○ 街頭啓発活動 日時 令和2年10月15日（木） 場所 市内でチラシ等をポスティング（役職員）</p> <p>○ 就業（労）先開拓企業訪問 日頃の発注のお礼及び従来の請負や委託契約の適正就業上の見直し及び新規契約のお願い 日時 令和2年10月23日～28日 訪問先 市内の企業等（役職員）</p> <p>[安全・適正就業対策委員会]</p> <p>安全・適正就業対策について</p> <p>委員長 鈴木 正</p> <p>この度、安全・適性就業対策委員会の委員長に就任いたしました八地区の鈴木正です。安全・適性就業について述べたいと思います。</p> <p>安全・適性就業対策委員会ですが、これはセンター会員の健康と就業上(就業先等との往復の途上を含む)の安全・適性就業に関する事項を検討し、その対策を推進するために設置されました。委員会の中に地区安全対策員が置かれ、合同で基本計画及び実施計画等を協議し、安全適性就業巡回指導や連合会主催の安全推進大会への参加等の活動をしています。</p>		

[4月～7月の契約高は前年度比1000万円減]

公共、企業、家庭共に減少

今年度はシルバー事業において対前年比で1000万円の減となっています。

この内容を見てみますと、公共に関しては契約金額で350万円のマイナス。企業においては工場からの受注が増加に転じましたが管理関係が減額になり、600万円のマイナスとなっています。家庭においては、除草、緑化関係とも減少したことにより、77万円マイナスとなっています。

コロナの影響により公共、企業、家庭ともすべてマイナスになっている状況です。節約、簡素化を考えながら、就業開拓活動及び広報活動、適正就業の推進を継続して取り組んでいきたいと思えます。

[シルバー派遣事業状況]

派遣事業への周知と協力を

一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）については、7月までで対前年比42万円の減となっています。介護事業所の仕事を昨年10月より派遣に切り替えたためその分増加はしましたが、コロナの影響により観光関係の契約が減少したことが減少の要因です。

労働者派遣法が改正されメリットを強調できる反面、法令遵守が厳しくなります。シルバー人材センターの適正就業ガイドラインを参考にしながら企業への周知の拡大を図り本事業を推進してまいります。

[市長要請を行いました]

8月28日（金）にセンター顧問及び役員8人が、市長及び市議会議長へシルバー人材センターへの支援の要望を行いました。今後進展する高齢化社会において、シルバー人材センターが求められる役割を十分に発揮し、共に支え合う社会を実現していくために、補助金を縮減しないよう、また市からの仕事の発注を増やしていただけるよう要望いたしました。